



くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 京都府議会議員

発行：2019年8月25日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117

地方都市の調査に参加 京都市に活かせるよう議論を!!

西野さち子市議は、8月7日～9日にかけて、文化環境委員会として他都市調査をしました。東京都や立川市、長野県、新潟県を訪問して、美術館の在り方や再生可能エネルギーの取り組み等を参考に京都市政に活かせるよう議論をしていく必要性を感じました。

新潟県三条市三条保内発電所

間伐材を活用したバイオマス発電

発電規模は6250kwでその内、発電所での消費は800kw。売り上げは約13億円/年見込み。運転人員は20名で三条市内から4名。発電所経験者は1・2名。8時間の3交代制。

200t/日の間伐材が必要だが、最初は「先祖からの山に手を入れたくない」と間伐材の伐採にも同意が得られなかったが、現在は森林組合の許可後伐採。燃やした後の灰に窒素やリンが多量に含有しているため、肥料に活用できないか研究中。ダイオキシン類などは年1回成分調査して、基準はクリアしている。



長野県817g、2位滋賀県830g、3位京都府843g、全国平均920g) 長野県廃棄物処理計画(2016年度から2020年度)の目標は1人1日当たりミニトマト1個分の減量で達成という事で、非常にわかりやすい。ただ、事業系はほぼ横ばいになっている。また、10か所で河川清掃をした結果、改修されたごみの60%がプラごみだったとの事。

東京都現代美術館再整備事業

教育プログラムがあり、都全体を対象にアーティストが学校へ行って授業を行い、美術館に來れない障害児の子どもたちの為に、ロボット操作で作品を見る等の工夫もされている。

再整備工事の休館中にも開かれた美術館として、「もっとサテライト」という取り組みで、公民館や商店街を活用して展示をするなどの活動をしている。対象を30代～40代のファミリー世代をターゲットに、「あそびのじかん」のスペースは小学生無料で自由な発想をしながら楽しむスペースがすばらしい。

『「あそんでいないで○○しなさい!」と遊びの時間を「勉強」や「仕事」や「お手伝い」に邪魔されていませんか? 日常の決まりごとが通用しない「遊びの時間」は、新しいアイデアや価値観が生まれる大切なチャンス。』とチラシで紹介されている。

長野県

ごみ減量に向けた取り組み

長野県は県民1人1日当たりのごみ排出量が2018年度まで4年連続で全国1少ない県となっている。(1位)

アリーナ立川

民設民営で建設し、ローコストで建設されたとの事だが、建設後2年ですぐにあちこちに亀裂があり補修の跡もある。改修費が高コストになる不安がある。

議員日誌

京都市議会の共産党議員団室が移転しました

京都市庁舎の改修に伴って、議員団室が北庁舎2階に移転しました。北庁舎の東入口を入ってすぐの階段か、エレベーターで2階へ上がってください。共産党議員団室は自民党の奥にあります。

庁舎整備が完成するまでの2年間、この場所になります。これまでと変わらずお気軽においで下さい。

